

製造業

- ◇**パン**…原材料の値上げ、売上高減少、異常気象、猛暑など例年にない厳しい月であった。
- ◇**味噌**…円安の影響等で原材料の値上がりが見られ、商品価格に転嫁できないことから、収益面での厳しさが増してきている。
- ◇**酒**…7月の課税移出数量は前年比101.1%と24年3月以来の前年比プラスとなった。特に特定名称酒の中で純米酒が堅調な伸び。また輸出免税数量は毎年増加しており順調である。焼酎乙類は前年比83.9%と落ち込んだ。国際空港での國酒キャンペーンが10月からスタートする。組合イベントは東京浅草「茨城地酒まつり」を10/11に予定。
- ◇**納豆**…業界全体としてはやや売上が好転しているが、一部の大手が好調で中小企業は悪化。猛暑で電気使用量を大幅に押し上げ、原材料・資材価格の上昇とともに光熱費の上昇は経営への圧迫度を強めている。価格改定の動きは大手、中小とも見られない。
- ◇**菓子**…盆月で上・中旬は涼菓を中心とした贈答菓子の売れ行きが好調。下旬は里帰りの客が土産品として焼菓子を中心に買い求め、景況としては強気配であった。
- ◇**繊維製品(袋物)**…8月は営業日数が少ないため、全体的に売上ダウン。猛暑の影響が秋冬物の立ち上がりが遅い様子。
- ◇**繊維製品(縫製)**…8月は盆休みもあり稼働率が落ちている。例年並みの受注量ではあるが、廉価傾向にあり、収益面は好転していない。
- ◇**木材**…大手ハウスメーカーやビルダーは消費税前を見越した駆け込み需要で盛り上がっているが、一方地場の工務店は盛り上がりには欠けている。木材販売店は依然として細かい仕事が続いている。プレカット工場は好調を維持しているが、収益面で厳しい状況が続いている。木材利用ポイントの申込件数はまだ少ない状況。木材市況は保合で推移。
- ◇**プレカット**…8月は稼働日数が少ないため、加工坪数は減少したが、例年に比べると盆明けの加工予定は多かった。職人不足によるものか、上棟予定が延びるケースが増えてきた。
- ◇**段ボール**…前年並みのところが多く、数量的には増えていない。住宅関係・自動車関係は良くなっているが、それ以外は数量が増えていない。景気

が良くなっている感はないが、少しトンネルの先の光が見え始めた気がする。

- ◇**焼物**…震災後、夏は動きが少なかったが、今年は例年よりも人の動きが多かった感がある。少しずつではあるが回復していると思う。10月11～14日に笠間芸術の森公園でイベントを開催する。
- ◇**鍍金**…売上は前年比減、自動車部品・建機・弱電部品等は当月も低調であった。建設・建築関係の受注は比較的好調である。製造設備の投資が増えないと当業界は低調である。設備投資減税とアベノミクス効果の底辺部への波及効果に期待している。
- ◇**電化機器**…当月の生産高は、対前年同月比で△50百万円(△6.24%)となる753百万円。前月の生産高が前年比で8.65%と増加した反動に加え、長期夏季休暇等もあった関係で前月比△274百万円の実績。雇用人数は前年比51人減少しており、先行きの見通しは依然として厳しいと思われる。
- ◇**自動車部品**…売上高の減少傾向はやや改善されてはいるが、例年から見れば水準以下であり、先行きの不安はぬぐえない状況である。
- ◇**工業団地(農機部品)**…組合員7社中6社が売上増で、全体では前年同月比109%。組合員各社とも、計画範疇にて推移。納品先の第一四半期の営業成績は、国内・輸出ともに対前期比伸長数字を発表している。

非製造業

- ◇**セメント卸**…袋セメントの出荷袋数は前年同月比約7%減少。建築工事の減少から相変わらず減少傾向が続いている。
- ◇**水産卸**…精算所取扱高は前年同月比3.42%増。円安により輸入原料魚が高値で推移。国内では旬のサンマ、スルメイカも海面水温上昇で漁獲量が減少しており販売価格は高値となっている。
- ◇**食品卸売**…野菜の入荷量は前年並みで単価高。果実に関しては入荷量・単価ともに前年並みで推移。猛暑による食欲不振などの影響により消費量が減退していると考えられる状況である。
- ◇**県南地区卸売**…業務用食材、酒類、飲料業種は好転しつつあるが、全面的には厳しい経営状況である。
- ◇**県北地区共同店舗**…7月後半からお盆にかけての天候不順で衣料品を中心に全業種ともに大苦戦。
- ◇**県央地区共同店舗**…大型催事を実施して集客を

図ったが、売上にはつながらなかった。

- ◇**県南地区共同店舗**…客数の減少幅が大きく、今期最低の比率となった。先月同様売上高も大きく減少しており、近郊に立つ超大型店の影響が大きい。
- ◇**家電**…夏商戦が一段落。一時猛暑でエアコン、扇風機需要が見られたが、テレビ、白モノ家電が大きく落ち込み前月比の約50%程度の売上となった。太陽光リフォーム等仕事を伴う案件も少なく、全体的に活気に乏しい月になった。対前年同月比でみると122%になっており、景況回復に兆しは見え始めている。
- ◇**中古自動車**…8月はカレンダーの関係でオークションが1回少なかったため、出品台数・売上ともに昨年を下回った。しかし、成約率が昨年同時期よりも8%高く、最終収益では昨年とほぼ同水準となった。ただし組合員の小売は依然として厳しい状況である。
- ◇**石油**…先月に引き続き中東地域の政情不安により、原油価格が高騰しているため、ガソリンの販売価格は前年同月比で17円上昇している。最需要期にもかかわらず、一般組合員の仕入価格を下回るような安値販売競争が繰り広げられ、休業・廃業に追い込まれる組合員が増加。
- ◇**ホテル旅館**…お盆の週の宿泊客は全体的に好調だったが、福島原発事故前まで毎年来ていた東京・埼玉の幼稚園、小学校の団体客が依然戻ってこない（訪問PRはしている）。中国からの団体客やアニメファンで賑わった地区もある。
- ◇**自動車整備**…組合員事業場の車両在庫状況指数である継続検査台数（持込検査）の対前年同月比は、普通車96.5%、軽自動車97.5%と減少。
- ◇**総合建設**…土木工事は減少、そのためダンプینگが多発。建設工事は耐震補強工事を中心に大型工

事が発注されているが、設計価格が実勢価格に追いついていないため不調入札が発生している。鉄筋、型枠、鉄骨等職人不足は深刻な状況である。

- ◇**管工事**…先月に引き続き工事発注があり、やや増加を感じる。
- ◇**交通安全施設**…大型補正予算関係の工事発注に伴い下請の件数が増えてきた。
- ◇**県北地区運輸**…主要顧客の各工場が夏季休暇等により休日が増えたため、トラックの稼働が低下し、売上高の減少となった。燃料価格は値上がり傾向にあり、収益を圧迫している。
- ◇**県央地区運輸**…気温の高い日が続く、家電・飲料水関係は前年より良好。お盆もあり、生活用品・食料品・雑貨等、全般的に動きが良かった。軽油は高止まりが続き収益は厳しい。

H25.8月の業界天気図

業種	指数	売上		収益状況	
		前年同月比		前年同月比	
食料品業		▲	16.7		▲ 50.0
その他業		▲	40.0		▲ 35.0
卸売業			25.0		▲ 25.0
小売業 (商店街を含む)		▲	36.4		▲ 45.5
サービス業			0.0		0.0
建設業			25.0		▲ 50.0
運輸業		▲	50.0		▲ 50.0
全体		▲	24.5		▲ 38.8

【天気図の見方】 県内情報連絡員から毎月いただいている情報連絡票の景況項目について、「増加」(又は、「好転」)業種割合から「減少」(又は「悪化」)業種割合を差し引いた値(D.I値)をもとに作成しています。その基準は、下図のとおりです。

30以上	10～30未満	10未満～▲10	▲10超～▲30未満	▲30以上

※表の中の数値はD.I値

アクモス 株式会社

<http://www.acmos.co.jp>

— 人と技術と感動を —

プロフェッショナルサービスプロバイダーのアクモスグループです

〒319-1112 茨城県那珂郡東海村村松2713-7
 TEL: 029-270-5555 FAX: 029-270-5531

 認定コード 6888	本社 東京都千代田区神田小川町三丁目26-8 03-5217-3121	つくば事業所 茨城県土浦市卸町1-1-1 関鉄つくばビル2F 029-834-3391
-------------------	--------------------------------------------------	----------------------------------------------------------